

令和4年度

試験名:編入学試験

【 社会・国際学群 社会学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
専門科目 (政治学)	<p>異なる志向性をもつ二つの民主主義、すなわち「多数決型」の民主主義と「合意形成型」の民主主義について、具体的な違いとともに説明させることによって、画一的に捉えることができない現代における民主主義制度に対する理解力、ならびにそれを論理的に論じる能力を判定することを意図して出題した。上記の性質から、本設問に対する唯一の正解例はないが、選挙制度、政党システム、内閣・議会関係、司法制度、中央・地方関係、利益団体など、複数の具体的側面から、民主主義的な政治運営においても公的権力の行使のかたちやその考え方に差異があることを指摘できていれば、高く評価している。</p>

令和4年度
学群編入学試験

【 社会・国際学群 社会学類 政治学専攻 】

区 分	出 題 意 図 ・ 正 解 例
外国語（英語）	<p>（問題 I）極右政党に関する英文を読ませ、設問に答えさせることによって、長文の読解能力を判定した。特に、1) 英文全体の趣旨を追いながら内容を正確に理解する能力、2) 英文の特定の箇所を前後の文脈の中に位置づけて類推する能力、3) 理解した内容を日本語で説明・表現する能力、を試した。正解例は以下の通り。</p> <p>① 対照的に、右翼側の種は不平等を自然秩序の一部であり、国家による介入の対象となるべきものではないと見なす。このことは、デンマークやノルウェーの進歩党などいくつかの政党が、経済的資源の政治的再分配よりも市場による分配を好む新自由主義的な経済政策を採用することにつながった。もともと、新自由主義的な経済政策は極右政党の決定的な特徴ではない。それどころか、1990年代以降、極右政党は国家の介入を支持する伝統的には左派的とされる経済政策をますます採用するようになった。むしろ、極右政党の共通点は、社会に存在する「自然な」差異によって厳格に統制する権威主義的なシステムと、逸脱行動を厳しく罰する法と秩序のシステムを作り出そうとする欲求なのである。</p> <p>② a</p> <p>③ ポピュリズムは社会における既存の権力構造や支配的価値に対する憤りを活性化することを伴うため、ポピュリストのメッセージの正確な内容は文脈依存的である。ヨーロッパでは、エリートには典型的には既成政党、知識人、経済的な上流階級、メディアが含まれる。これらの集団は、個人主義、多文化主義、国際主義に関連するリベラルな諸価値を推進し、人民を権力から遠ざけるために結託していると批判の標的にされる。これらの集団は社会のあらゆる病理に対して責任があると見なされる。</p> <p>④ b</p> <p>⑤ radicalism はあらゆる形態の民主主義を否定するわけではないのに対して、extremism は民主主義自体に反対する。</p> <p>⑥ b</p> <p>（問題 II）世論と政策の関係に関する英文を読ませ、その内容を日本語で要約させることによって、長文の読解能力を判定した。特に、1) 英文の内容をロジカルに理解する能力、2) やや専門的な英文の論旨を把握し、それを簡潔かつ的確に表現する能力、を試した。正解例は以下の通り。</p> <p>近年の多くの研究は、米国において大衆の意見が政策に影響するという意味での代表性が1970年代以降衰退していると主張している。しかし、1970年代は例外的に代表性が高かった時期であり、長期的にみれば、その後の時期に代表性が特別低くなったわけではない。議員行動に対する選挙区と政党の影響も、1960年代と1970年代には同等だが、他の時期には政党の影響の方が顕著に大きいという。代表性の低下は、政治家が有権者の意見を把握する手段が発展し、かつ有権者が選挙において政策をより重視するようになった時期に生じている。したがって代表性の低下が応答性の低下と関連しているとは言えない。そうではなく、代表性の低下の時期は両政党の分極化が進行した時期と一致しているのである。</p>